

令和6年10月7日  
国土交通省関東地方整備局  
港湾空港部

## 横浜港本牧ふ頭の4ターミナルにおいて CONPAS<sup>®</sup>試験運用を同時実施

関東地方整備局では、京浜港の国際競争力強化を図るため、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を目的としたシステムであるCONPAS<sup>®</sup>の導入を進めております。横浜港南本牧ふ頭コンテナターミナルでは、令和3年3月よりCONPAS<sup>®</sup>の本格運用を開始しています。

今般、関係者の協力のもと、横浜港本牧ふ頭BC1・BC2・D1・D4の各コンテナターミナルにおいて、CONPAS<sup>®</sup>試験運用を同時に実施しますのでお知らせします。

<試験運用の概要> ※詳細は別紙のとおり

日時：令和6年10月16日(水)～令和6年10月29日(火)

※但し、土日祝日を除く

参加店社：一般社団法人神奈川県トラック協会海上コンテナ部会加盟店社

目的：①予約によるトレーラー来場時間の平準化

②予約情報を活用した事前荷繰りによる、コンテナヤード内の荷役の効率化

※本牧D4ターミナルのみ

③PSカードを活用した搬出入処理の効率化

※本牧BC2ターミナルのみ

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

電話：045-211-7437 メールアドレス：info-i83ab@mlit.go.jp

室長 福本（ふくもと） 内線：5729

課長補佐 飯塚（いづか） 内線：5748

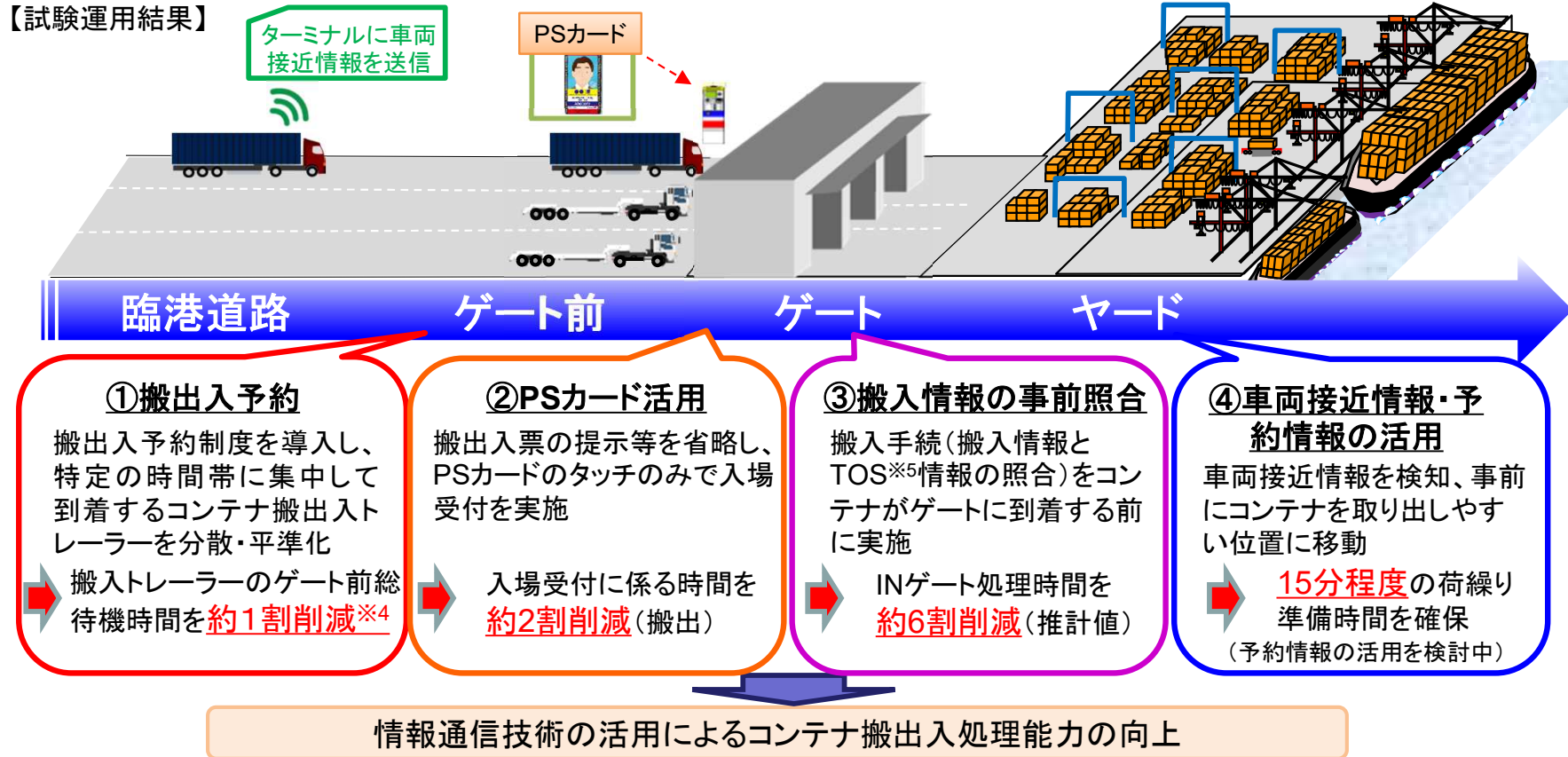
# 横浜港COMPAS試験運用(第12回)の概要

| 対象CT   | 本牧BC1   | 本牧BC2  | 本牧D1                   | 本牧D4  |
|--------|---|--|------------------------|---|
| 実施時期   | 令和6年10月16日(水)～29日(火)の平日10日間 ※ただし土日祝は除く  |  |                        |   |
| 目的     | ・予約による来場時間平準化   | ・予約による来場時間平準化<br>・PSカードを活用した搬出入処理の効率化                            | ・予約による来場時間平準化          | ・予約によるCY内荷役の効率化   |
| 対象コンテナ | ①搬出(実入・空)<br>②搬入(実入・空)<br>【注】リーファーコンテナ対象外   | ①搬出(実入・空)<br>②搬入(実入・空)   | ①搬出(実入・空)<br>②搬入(実入・空) | ①搬出(実入)<br>【注】リーファーコンテナのみ                                       |
| 予約時間   | 9:00～11:00、13:30～16:00  | 【搬入】<br>9:09～11:00、13:30～16:00<br>【搬出】<br>9:00～11:00、13:30～16:00 | 9:30～11:00、14:00～16:00 | 9:00～9:03<br>10:00～10:03<br>10:57～11:00<br>※事前荷繰りを行うための予約時間枠を設定 |
| 参加店社   | 神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会の加盟店社  |  |                        |   |
| 参考     | COMPAS全般の概要は、Cyber Port・COMPASポータルサイト( <a href="https://www.cyber-port.net/">https://www.cyber-port.net/</a> )の“COMPASについて”に掲載しております。 |  |                        |   |

# COMPASの概要

- COMPAS ※1は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることで、コンテナ物流の効率化及び生産性向上の実現を目的としたシステム。
- ゲート前混雑が深刻化する中、情報通信技術の活用により、ゲート手続やヤード内荷役作業の効率化を実現するため、横浜港において試験運用を実施。
- 横浜港で令和3年4月より本格運用※2を開始。
- 東京港においても令和4年8月からCOMPASを活用したコンテナ搬出入予約制事業の取組※3を開始。

【試験運用結果】



※1 COMPAS: Container Fast Pass の略

※2 「搬出入予約機能」「PSカード活用した受付機能」「搬入情報の事前照合機能」を常時運用すること

※3 東京港においては【搬出入予約機能】を活用して取組を開始(「PSカード活用した受付機能」「搬入情報の事前照合機能」の活用も今後検討)

※4 搬入トレーラーの14%が COMPASで予約を行った場合

※5 ターミナルオペレーションシステム

# 試験運用の概要① ～搬出入予約制度によるトレーラー到着の分散・平準化のイメージ～

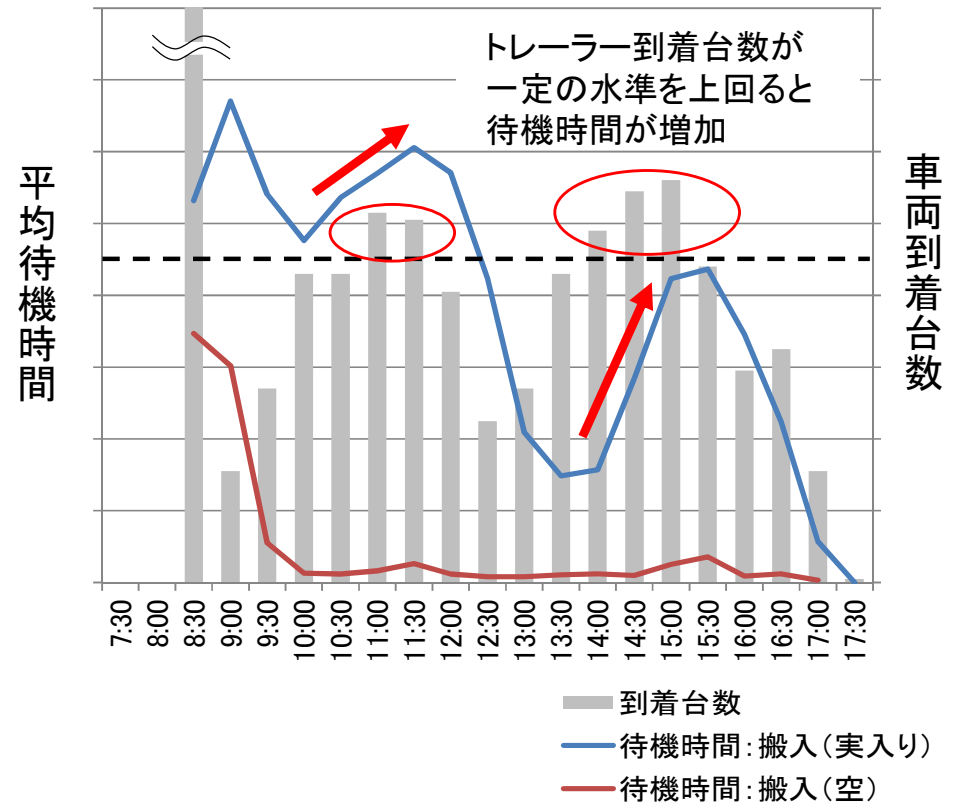
参考資料

- トレーラーの特定時間帯への集中は、コンテナターミナルのゲート前混雑の発生要因の一つ。
- 搬出入予約制度を導入し、特定の時間帯に集中して到着するトレーラーを分散・平準化することで、ゲート前混雑の解消を図る。

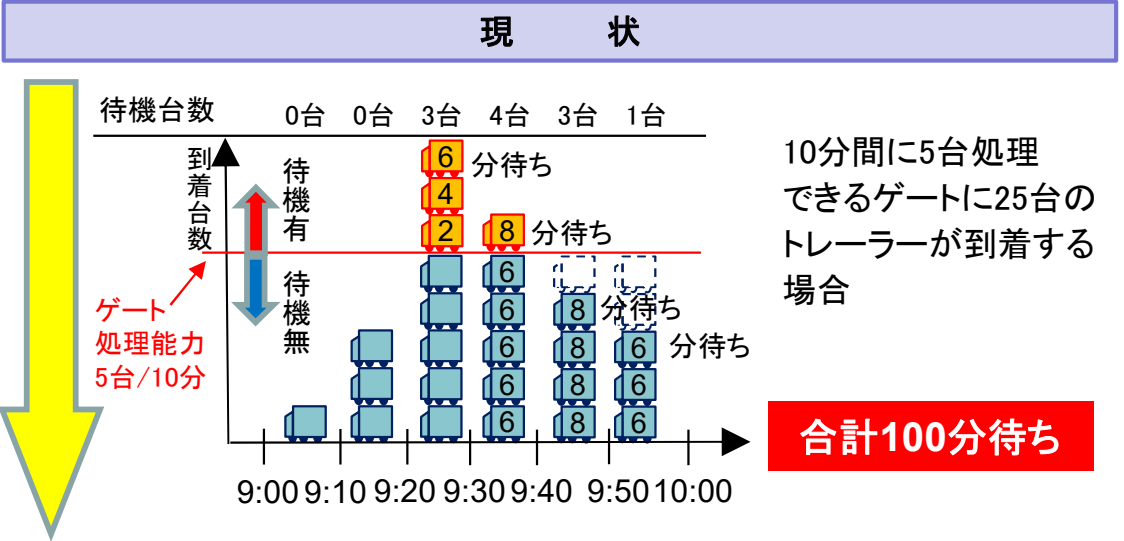
## ゲート前混雑の発生要因

～トレーラーの特定時間帯への集中～  
ターミナルへのトレーラー到着台数が一定の水準を上回ると、トレーラーの待機が発生し、それ以降に到着するトレーラーにも待機が継続して発生する。

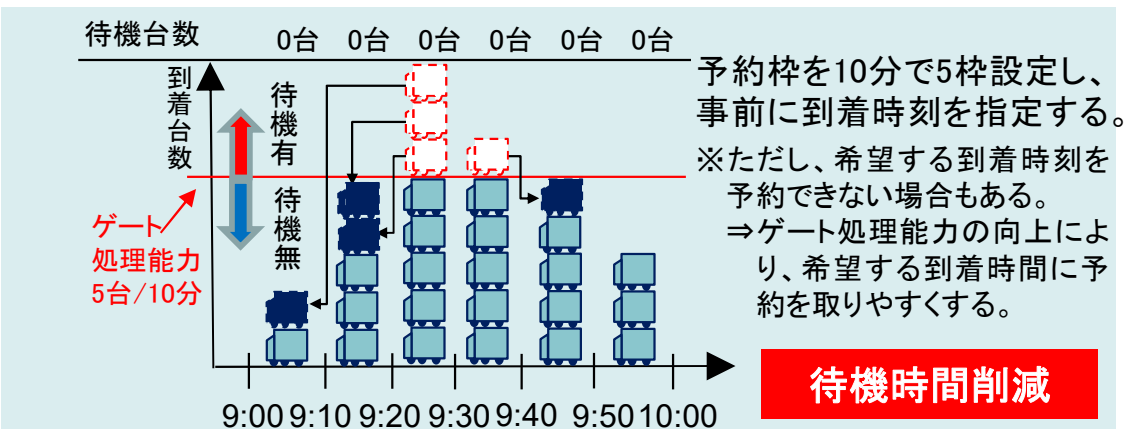
【コンテナターミナルへの時間別到着台数と待機時間の関係のイメージ】



## 搬出入予約制度の導入による混雑解消イメージ



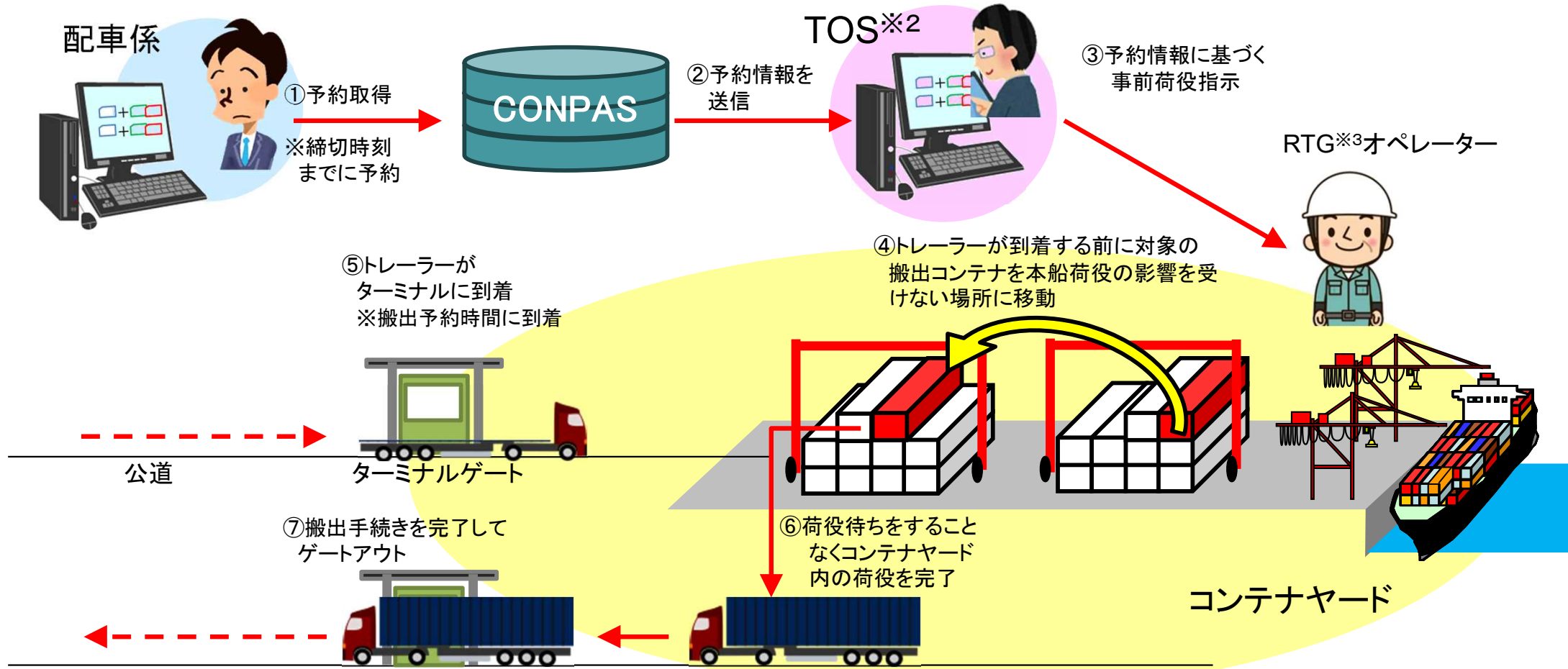
## 搬出入予約制度の導入によりトレーラーの集中を分散・平準化



※グラフはイメージであり、D1試験運用の値と異なります。 3

- CONPAS※1に登録された予約情報を利用して、トレーラーがコンテナを引き取りに来場する前に、搬出対象のコンテナを本船荷役の影響等を受けない場所に移動。
- 本船荷役の影響や不要な荷繰りを回避することで、コンテナの円滑な引取りが可能となり、コンテナヤード内のトレーラー滞留時間の短縮を実現。

◆コンテナヤード内の荷役効率化イメージ(実入り搬出)

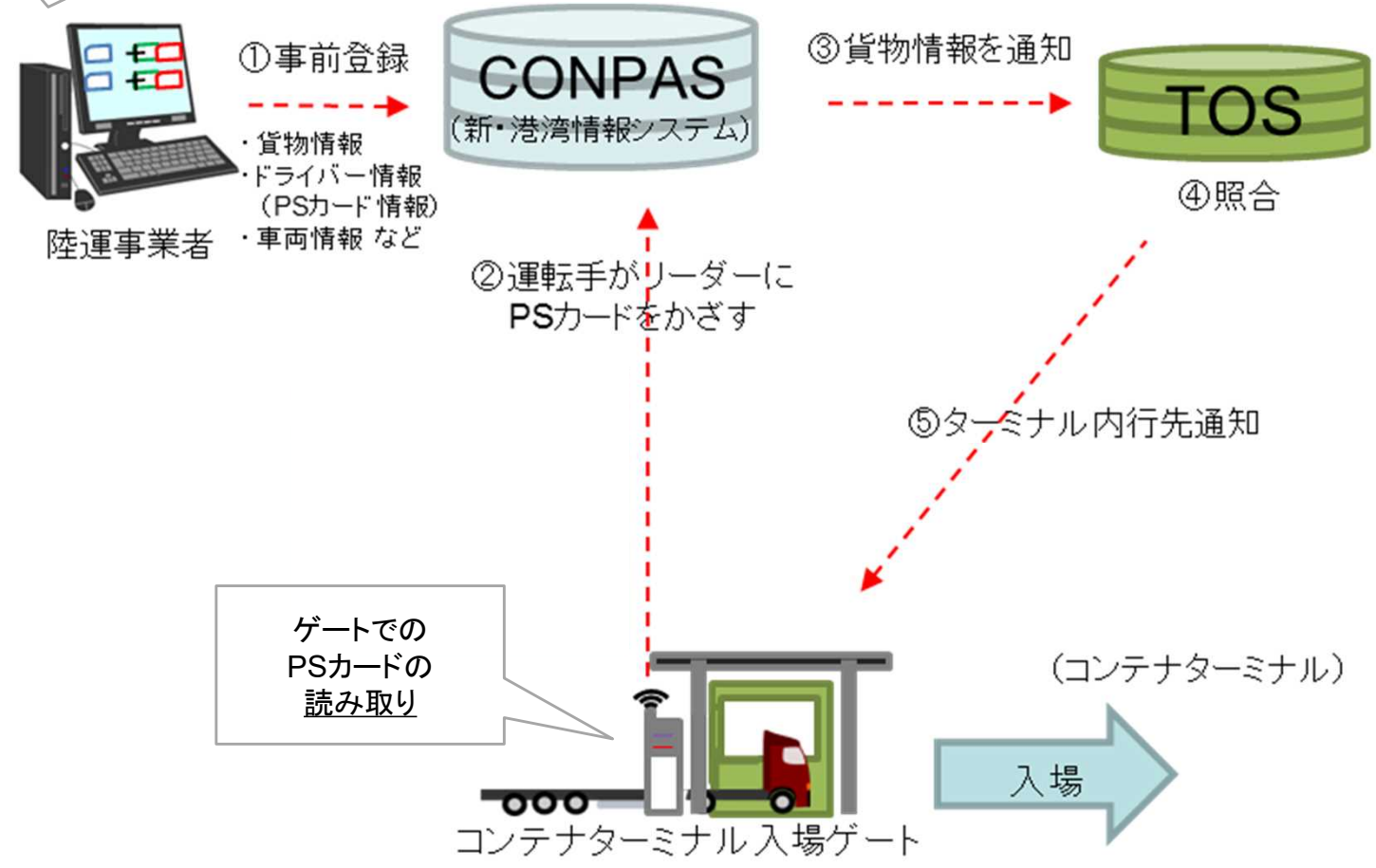


※1 CONPAS: Container Fast Pass の略  
 ※2 TOS: ターミナルオペレーションシステム  
 ※3 RTG: "Rubber Tired Gantry crane"の略。RTGはコンテナターミナルにおける荷役機械の一つで、コンテナヤード内のコンテナを運搬するときに使われる門型のクレーン。



○ドライバー情報(PSカード※情報)を活用し、セキュリティを確保しつつドライバーの誤入力を防止、ゲート処理時間を短縮する(今回は仮運用となります)。

入場時間の予約を行って並ぶことなく入場



※ Port Security カードの略。港湾の制限区域への人の出入りを確実かつ円滑に管理するために国が発行するICカード

- 関東地方整備局において、ゲート処理等の効率化、セキュリティの向上等を図るためのシステム「CONPAS※<sup>1</sup>」を開発。
- 2017年度より試験運用を行い、これまでに、搬出・入コンテナのゲート入場の事前予約、IC付身分証(PSカード※<sup>2</sup>)による入場、外来トレーラーの接近情報を利用した事前荷役のシステムが完成。
- 2019年2月から3月に、搬入票の電子化に関するシステムの動作確認を実施。4月から5月に、繁忙期における事前予約システムの試験運用、6月から7月に、参加店社を拡大した事前予約システムの試験運用を実施。
- 2019年11月に試験運用実施ターミナル、参加陸運店社等を拡大した試験運用を実施。
- 2020年10月に参加陸運店社を拡大した試験運用を実施。
- 2021年4月に南本牧において、本格運用※<sup>3</sup>を開始。
- 2022年6月に本牧BCにおいて、試験運用を実施。
- 2022年7月に本牧D1において、試験運用を実施。
- 2023年7月に本牧D1・BCにおいて、試験運用を実施。

## 試験運用の経緯

※次頁に各試験運用のイメージを示す

### 【実施場所】

横浜港南本牧コンテナターミナル(第1回～第8回)、本牧BCコンテナターミナル(第7回～第9回、第11回)、本牧D1コンテナターミナル(第10回、第11回)

### 【実施期間】

- |  |  |
|--|--|
| <p>第1回 2018年1～3月、第2回2018年8～9月<br/>・PSカード入場・事前荷役システムの試験運用</p> <p>第3回 2018年11～12月<br/>・事前予約システムの試験運用(搬出コンテナ)</p> <p>第4回 2019年2～3月<br/>・事前予約システムの試験運用(搬入コンテナ)、搬入票電子化システムの入力端末の動作確認</p> <p>第5回 2019年4～5月<br/>・繁忙期における事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</p> <p>第6回 2019年6月～7月<br/>・参加陸運店社を拡大した事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</p> | <p>第7回 2019年11月<br/>・試験運用実施ターミナル、参加陸運店社を拡大した事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</p> <p>第8回 2020年10月<br/>・参加陸運店社を拡大した事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</p> <p>第9回 2022年6月～7月<br/>・事前荷繰りによるコンテナヤード内の荷役効率化に関する試験運用(実入搬出)</p> <p>第10回 2022年7月<br/>・事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)</p> <p>第11回 2023年7月<br/>・事前予約システムの試験運用(搬出・搬入)、事前荷繰りによるコンテナヤード内の荷役効率化に関する試験運用(実入搬出)</p> |
|--|--|

### 【参加者】

南本牧コンテナターミナル、本牧BCコンテナターミナル、本牧D1・D4コンテナターミナル、神奈川県トラック協会海上コンテナ部会

※1 CONPAS: Container Fast Pass の略  
 ※2 Port Security カードの略。港湾の制限区域への人の出入りを確実かつ円滑に管理するために国が発行するICカード  
 ※3 「搬出入予約機能」「PSカード活用した受付機能」「搬入情報の事前照合機能」を常時運用すること

### 搬出入予約制度の導入によりトレーラーの集中を分散・平準化

待機台数 0台 0台 0台 0台 0台 0台

到着台数 ↑

待機有  
待機無

9:00 9:10 9:20 9:30 9:40 9:50 10:00

予約制度を導入し、特定の時間帯に集中して到着するトレーラーを分散・平準化することで、ゲート前混雑の解消を図る。

### CONPAS※1を活用した搬入票の電子化による搬入ゲート手続きの効率化の概要

○搬入票を電子化し、コンテナ到着前に搬入票情報をコンテナターミナルに通知し事前処理することにより、ゲート処理時間を短縮。  
※試験運用では、搬入票電子化入力端末の動作確認を実施。

- 倉庫等でパニング
- 海貨事業者・倉庫等が端末に、総重量、コンテナ自重、シール番号を入力
- 搬入票(電子)を送信
- 貨物情報と自動的に照合
- 運転手がPSカードをタッチ
- 搬置場所情報の送信

※必要な場合のみクラークが修正

海貨・倉庫等 → 入場ゲート → コンテナターミナル

### PSカードを活用した搬出・搬入ゲート手続きの効率化の概要

○ドライバー情報(PSカード※2情報)を活用し、セキュリティを確保しつつドライバーの誤入力を防止、ゲート処理時間を短縮。

入場時間の予約を行って並ぶことなく入場

- 事前登録 (貨物情報、ドライバー情報(PSカード情報)、車両情報など) 陸運事業者 → CONPAS (新・港湾情報システム)
- 運転手がリーダーにPSカードをかざす
- 貨物情報を通知 CONPAS → TOS
- 照合
- ターミナル内行先通知 (コンテナターミナル) → 入場ゲート

※3

貨物情報の手入力 → PSカードのタッチのみ

コンテナターミナル入場ゲート

### CONPASを活用した事前荷繰りによるコンテナヤード内の荷役効率化の概要

○CONPASに登録された予約情報を利用して、トレーラーがコンテナを引き取りに来場する前に、搬出対象のコンテナを本船荷役の影響等を受けない場所に移動。  
○本船荷役の影響や不要な荷繰りを回避することで、コンテナの円滑な引取りが可能となり、コンテナヤード内のトレーラー滞留時間の短縮を実現。

◆コンテナヤード内の荷役効率化イメージ(実入り搬出)

- 予約取得 (※締切時刻までに予約) 配車係 → CONPAS
- 予約情報を送信 CONPAS → TOS
- 予約情報に基づく事前荷役指示 RTGオペレーター
- トレーラーが到着する前に対象の搬出コンテナを本船荷役の影響を受けない場所に移動
- トレーラーがターミナルに到着 (※搬出予約時間に到着) 公道 → ターミナルゲート
- 荷役待ちをすることなくコンテナヤード内の荷役を完了
- 搬出手続きを完了してゲートアウト

コンテナヤード

※1 CONPAS: Container Fast Pass の略  
 ※2 Port Security カードの略。港湾の制限区域への人の出入りを確実かつ円滑に管理するために国が発行するICカード  
 ※3 ターミナルオペレーションシステム  
 ※4 RTG: "Rubber Tired Gantry crane"の略。RTGはコンテナターミナルにおける荷役機械の一つで、コンテナヤード内のコンテナを運搬するときに使われる門型のクレーン



# ペナルティ制の導入

予約しても来場せずCOMPASのキャンセルもしない「すっぽかし」に対するペナルティを導入

## ペナルティの内容

### 付与するペナルティポイント

- ・ 店社別に「すっぽかし」1件を1ポイント

※ペナルティポイントの範囲は、試験運用期間中のBC1,BC2,D1,D4の累計値とする。

### ペナルティを発動する基準値（累積ペナルティポイント）

- ・ 累積ペナルティポイントが『15ポイント（15件）』に到達した都度、ペナルティを発動

※累積『10ポイント（10件）』及び『15ポイント（15件）』に到達した日の17時以降に“警告”あるいは“ペナルティ発動”の連絡（E-mail+TEL）を発出。

### ペナルティ内容

- ・ すっぽかしが、累積15ポイントに達した翌営業日から『3営業日』利用できなくなります。翌日以降の取得済予約は事務局側で削除の上、『3営業日』の間、新規取得不可。

【ペナルティのイメージ】

例) 2/1時点ですっぽかしが15件に達した場合。

| 日        | 月    | 火    | 水        | 木   | 金    | 土  |
|----------|------|------|----------|-----|------|----|
| 1/28     | 29   | 30   | 31       | 2/1 | 2    | 3  |
| ← 利用可能 → |      |      |          |     | 利用不可 |    |
| 4        | 5    | 6    | 7        | 8   | 9    | 10 |
|          | 利用不可 | 利用不可 | ← 利用可能 → |     |      |    |

累積15件到達 (2/1)

※営業日は、土日祝日を除く平日。